

特殊レンズの分野で 厳しい課題に挑み続ける

橋光学は昭和36年に創業、現社長の橋康雄さんは3代目です。加工が難しい特殊レンズを得意としています。その一つがシンドリカルレンズと呼ばれるかまぼこ型のレンズ。普通のレンズが1点に集光されるのに対して線状に集めることができるので、レーザープリンターやコンピューター映像などに用いられます。注文数が一個のものから、ものによっては数千個のものまでありますが、難しいオーダーも短い納期で完成まで持っていけるのが同社の強みです。お客さんから要望を聞いただけで、どういう行程でどのように作るかを即座にイメージできる、経験があるからこそできる技です。

また新たな事業として、レーザー彫刻機によるオーダーメイドギフト商品の製作にチャレンジしています。レーザーを応用した新しい技術とレンズ加工で培った研磨技術から生み出される仕上がりの美しさが好評です。こだわりの自社製品作りの挑戦は続きます。



かまぼこ型、円すい型など、特殊なレンズ



ここがすごい!!

専門性の高いレンズに技術力で応える

同社の強みは一貫して製造・加工できることにあります。なかでも精度を大きく左右するのが研磨です。同社では金属製の研磨用の治具も社内で作ることで、安定した精度が生み出せます。他社で断られたような難しい注文にも応えられる技術力があるからです。「難しい課題をどうすれば解決できるか、一つひとつ考えてクリアしていくことがこの仕事のおもしろいところ」と橋社長は話します。



レーザー彫刻機で作ったアクリルの名刺



レーザー彫刻機を使ったギフト商品

株式会社橋光学

www.tachibanakougaku.com

代表者 橋 康雄
所在地 世田谷区弦巻2-8-15
設立 昭和36年(1961年)
主な事業 光学硝子・素子の製造・販売。ギフト・記念品等の製造・販売
連絡先 ☎03-3427-8741



VOICE 手を動かして考えるのが ものづくりの基本です

手を動かして何かを作ってみて欲しい。プラモデルでも何でも手で作るものは、次にどうするかを考えながらでないとうまく作れません。この、考えるということが何をやるにしても大切なことだと思います。

橋康雄代表取締役

